

(社)日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第35回 LLW 埋設施設検査方法分科会議事録

1. 日 時：2022 年 4 月 28 日(木) 9：30～11:00
2. 場 所：Webex による WEB 会議
3. 出席者（順不同，敬称略）
（出席委員） 河西主査，高尾副主査，千々松，鈴木，竹田，中辻，山本（正），
平井，枝松，久田，山田，山岡（梅原幹事代理）（12 名）
（欠席委員） 仲田，工藤，田坂，山本（修）（4名）
（常時参加者） 関口，斉藤（2名）
4. 資 料
F15SC35-1 議事次第
F15SC35-2 人事について（LLW 埋設施設検査方法分科会）
F15SC35-3 第 34 回 LLW 埋設施設検査方法分科会議事録（案）
F15SC35-4 専門部会中間報告の意見募集結果に関する対応について
F15SC35-4-1 専門部会コメント対応表
F15SC35-4-2 専門部会コメント改定前後比較表（標準本体）
F15SC35-4-3 専門部会コメント改定前後比較表（附属書）
F15SC35-4-4 改定案（本体）
F15SC35-4-5 改定案（附属書）
F15SC35-4-6 改定案（解説）
F15SC35-5 標準委員会向け説明資料案
F15SC35-参考 幹事交代に関する学会への確認メール

5. 議事

（1）出席者及び資料確認

山田委員から，分科会成立に必要な委員数（11名以上）を満たしている旨の報告があった。また，本日は梅原幹事不在のため，河西主査が第35回分科会の配布資料の確認を行った。

（2）人事案件

河西主査から，F15SC35-2に基づき人事の説明があった。5月9日の専門部会で正式に山田委員が委員承認されることを条件に，河西主査及び高尾副主査から，山田委員が幹事として指名された。また，これに伴い梅原幹事は5月9日付けで幹事退任となることについても報告された。

(3) 前回議事録の確認

河西主査から、F15SC35-3に基づき第34回の議事録案について紹介された。山本（正）委員から出席者名と人数に齟齬があるとの指摘があり、修正の上で再配布することとなった。

(4) 専門部会中間報告へのコメント対応について

F15SC35-4-0～F15SC34-4-6に基づき、山田委員、齊藤常時参加者から専門部会中間報告の意見募集結果への対応案について説明が行われた。

主な質疑は次のとおり。

- ・専門部会は5/9だが、本日の分科会でのコメントを反映して専門部会資料とすることは可能か。（河西主査）
⇒専門部会事務局と調整しており、本日が分科会である事情も伝えて提出期限を5/2としていただいている。それでも間に合わない場合などは事務局と再調整など検討する。（山田委員）
- ・コメントNo. 22に関連して修正した本体3. 5. 3 受入施設の用語の定義について、記載の意図は理解するが“発電所”という表現が唐突で違和感がある。（平井委員）
⇒“埋設施設以外の場所”とするなど、表現を見直す。（山田委員）
⇒修正後には修正案について、関係者に再度確認してもらってほしい。（河西主査）
⇒拝承。（山田委員）
- ・本体3. 5. 3 受入施設について、埋設後管理標準では“受入れ施設”となっているため、**整合**をとる必要がある。（千々松委員）
⇒今後、専門部会後に予定されている埋設後管理標準及び安全評価標準との合同会議で、表現の整合を図るため、その際に調整したい。（山田委員）

(5) 標準委員会中間報告用資料について

F15SC35-5に基づき齊藤常時参加者から標準委員会の中間報告資料案について説明が行われた。

主な質疑は次のとおり。

- ・p. 1の1. におけるインデントの点の大きさが異なっている。（河西主査）
⇒修正する。（齊藤常時参加者）
- ・p. 6 までは標準委員会のフォーマットに基づいていて p. 7 以降は補足資料という位置付けならば、p. 6 と p. 7 の間に区切りをつけてはどうか。（河西主査）
⇒拝承。（齊藤常時参加者）
⇒標準委員会のページ数は6. 5ページが基準とされているので、p. 7以降は付けるとしても当日の説明はなしになるかと思われる。（山本（正）委員）
- ・p. 2 に誤記があり分科会の開催回数が重複している。（山本（正）委員）
⇒修正する。（齊藤常時参加者）
- ・専門部会後に予定されている3 標準の合同会議では、新しい原子力学会ガイドライン及び JIS 規格にどこまで合わせるかが焦点になると考えられるが、どう対応すると考えているのか。（山本（正）委員）
⇒3標準の合同の打合せで調整すると考えているが、指示はあるのか。（河西主査）
⇒学会としては新しいガイドライン及びJIS規格をできるだけ採用してほしいという要求になっている。（山本（正）委員）

⇒3標準の合同会議で決めて、その後にそれに沿った修正を行うと考えている。（斉藤常時参加者）

⇒6月の標準委員会報告ではその修正を反映するのか。（山本（正）委員）

⇒修正には時間を要すると考えており、6月の標準委員会中間報告ではこのままで進め、本報告までに修正していくことで考えている。（斉藤常時参加者）

以上